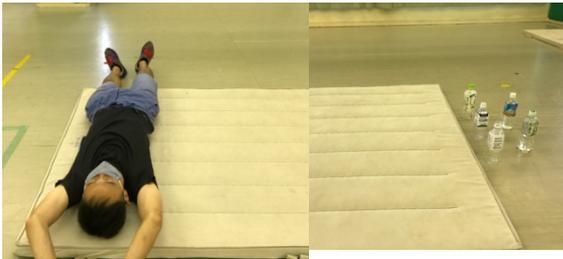


大項目	環境の把握④感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動
小項目	粗大運動（身体を大きく動かす）
タイトル （教材名）	ゴロゴロボーリング
目的 身につけてほしい力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「揺れ」などを感じる感覚を刺激することで、バランス感覚を高める。</li> <li>・身体の動きをイメージし、コントロールする力を高める。</li> </ul>
教材の概要	【用意するもの】 マット（布団でもよい）、空のペットボトル
材料 作り方 工夫点など	 <p>マットの片端に空のペットボトルを並べる。児童生徒は、反対側の端に仰向けに寝る。両腕は頭の上へ伸ばす。</p>
画像	 <p>ペットボトルを目標に、身体を横向きに動かす（ゴロゴロと転がる）。</p>  <p>マットの端まで身体を動かし、ペットボトルを倒す。</p>
教材の使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体を動かす際は、上半身または下半身のどちらかを先に捻る必要があるため、最初に肩または腰を捻るように促す（「はじめに腰を捻りましょう。そうすると、お尻からゴロンとまわりますよ。」など）</li> <li>・回るスピードや力の入れ方をコントロールしやすくするため、なるべく目を開けたまま行うように促す。</li> <li>・周りにぶつかるものがない、安全な場所で行う。</li> <li>・ペットボトルにシールを貼ったり、中に鈴やビー玉やビーズを入れたりなど工作の要素を組み合わせることで、手先を使う細かい作業を体験させてもよい。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固有覚、前庭覚、触覚に刺激を入れる取り組みです。</li> <li>・自立活動の他の項目との関連例 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;環境の把握&gt;①保有する感覚の活用</li> <li>&lt;身体の動き&gt;①姿勢と運動・動作の基本的技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤作業に必要な動作と円滑な遂行</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・参考文献「親子で楽しめる 発達障がいのある子の感覚あそび・運動あそび」 秦野悦子 杉並区立こども発達センター ナツメ社 2013年</li> </ul>

